

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



春の兆しを感じられる頃となりました。

子どもたちは、生活にも慣れて進んで遊びや活動を進めています。天気の良い日は、ドッジボールをしたり、鬼ごっこを楽しんだりしてダイナミックな動きのある遊びを楽しめるようになりました。

5歳児のしているチーム対抗のドッジボールは、みんなのモデルになっています。「私たちもしてみたい。」と4歳児は憧れの気持ちが芽生えています。

先日の「ひな祭り会」で大きくなった姿を全園児で共有した時のつぶやきがありました。「年少組の時には乗れなかったけれど、一輪車に乗れるようになりました。」「幼稚園で野菜が食べられるようになって大きくなりました。」と発表していた姿も見られました。

子どもたちは日常の遊びや行事を通して、自分の成長を振り返る機会があり自己理解さらに他者理解をしていました。このように目覚ましい成長をそれぞれの子どもたちが成し遂げています。

季節感を味わいながら、幼児が互いにかかわりを深め、協同して遊ぶ
～幼稚園教育で大切にすることは、自ら行動する力を育むこと～

幼児は、周りの幼児が作った物やしていることに憧れて自分もそのような物を作ろうとしたり、知らず知らずのうちに周りの幼児の動きを模倣したりする中で、周囲のものや遊具などとの多様なかかわり方を学んだり、新たな感覚を体感したりして、自分の中に取り込み自ら行動するようになります。

幼児が協同して遊ぶためには、すぐに遊びが始められるように前日の物的環境の準備がとても大切になります。

ひなまつり会の一場面です。毎回、ねらいをもって集いを行います。遊び方、伝え方、子ども同士で見合いながら互いの成長を自然に高めています。



体を動かして楽しむ【全園児】 制作の工夫点を伝える【4歳児】

自ら選んでする遊びの場面です。

例えば、左の場面は、年長児のドッジボールを模倣して、隣で年中児が転がしドッジを楽しんでいます。



ドッジボール【4・5歳児】

積み木遊び【3歳児】

今まで培ってきた自発性を基盤として、より生き生きとした深みのある人間関係を繰り広げていけるようにかかわっていきたいと思います。





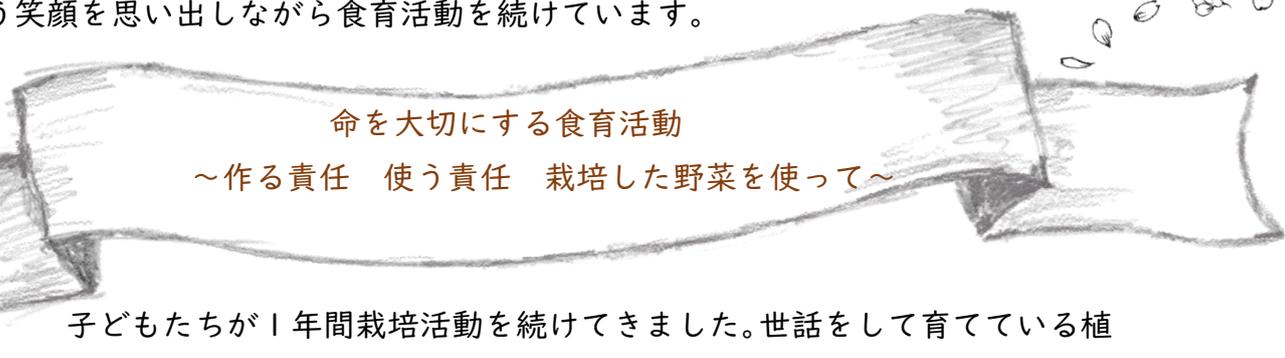
ねらい：身近な人と親しみ、かかわりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する
 楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ
 ～年長組さんとの「さよなら」が近づいてきたよ～



年中組さんが企画をして「さよならパーティー」を開催しました。
 年長組さんが残りわずかになってきたことを確認して、みんなで思い出をつくったり、今
 まで年長組さんに憧れの気持ちをもっていたことなどを言葉で伝えあったりしました。



先日は、年中組・年少組は、栽培したブロッコリー、キャベツを収穫しました。みんな
 で話し合いをして、あいママのところへ持って来ました。「年長さんやみんなにお料理し
 てください。」との注文でした。キャベツの外側は少し葉っぱが固くなっていましたが芯
 の方は、きれいに葉が巻いて育っていました。綺麗に洗うところから始めてどのように提
 供すると子どもたちが食べやすいか考えました。いつも私が考えることはひとつだけだ
 です。「美味しく食べてもらいたい。」という思いだけです。子どもたちの「美味しかった。」
 という笑顔を思い出しながら食育活動を続けています。



命を大切にする食育活動
 ～作る責任 使う責任 栽培した野菜を使って～

子どもたちが1年間栽培活動を続けてきました。世話をして育てている植
 物には愛着が湧いています。自分で育てた喜びを日々感じる事ができまし
 た。

その様子を保護者の方も身近に感じてくださり、時には「家庭で栽培した
 よ。お料理に使ってね。」「この苗を使ってください。」と言ってくれるこ
 ともありました。中には、卒園された保護者の方も食育の取り組みを知り
 協力してくださっている方もいます。地域の方のかかわりを園に取り入れて
 より食育活動が豊かになるように工夫しています。

ワクワクする
 「メニュー」表示

「くるくるしたら、お野菜出てきた♡」

「さよならパーティー限定」

きゃべちゃん
 サンドイッチ



3歳児用「エシャロットスープ」

～2月あさがおイラスト ゆうとさん・かおりさん～

文責 まつなが あい

特別テラス席♡